

私は、小六の時けがをして大好きな体育の授業や、習い事でやっていた器械体操ができなくなりしました。小一から楽しみにしていた組体操もできなく、笛を吹く役割をもらったのに運動会の日には休みたいと思うほど私はシヨックで苦しかったです。

そんな私に寄り添って支えて下さった小学校の先生がいます。その先生は私に「あなたのことを信用しているから笛を吹く役割を任せる。苦しいかもしれないけど、全力で頑張ってもらいたい。」

と言って下さいました。先生のおかげで私は頑張ることができました。思いだすだけで感謝の気持ちでいっぱいになります。勉強を教えることだけが先生の仕事だと思っていました。しかし、それだけではないと知りました。

私の周りには働く人がたくさんいます。その方々のおかげで幸せな生活を送れます。働く人の存在をあたりまえだと思わず、しっかりと感謝していきたいです。本当にありがとうございます。

かわむら れいあ  
川村 怜愛さん

